

第 **73** 号
〈2013.10.15〉

マとま

みんなのボランティア情報紙

発行
社会福祉法人 四街道市社会福祉協議会
四街道市ボランティアセンター

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡無番地
総合福祉センター3階
TEL 043(422)2945
直通 043(421)6300
FAX 043(422)2807

次号は 1 月 15 日 発行



リバモアでのウェルカムパーティーで用意されたケーキ



リバモアの訪問団の受け入れ



あなたにもできる国際交流 Part2

てと手73号では、前号に引き続き国際交流協会（Yokka）の活動をお伝えいたします。

今回は「姉妹都市部会」、「通訳・語学研修部会」についてご紹介いたします。

姉妹都市部会

Q 姉妹都市部会の皆さんはどのような活動をしているのですか？

A カリフォルニア州リバモア市と四街道市の交流のお手伝いをしています。

Q 交換留学のサポートは、具体的にどのようなことをしているのですか？

A リバモア市からの短期留学生は、四街道市内の中学に通学している同じ中学生がいる家庭に二人ずつ1週間滞在し、その内3日間は四街道市内の中学校と一緒に通います。

姉妹都市部会としては、留学生及び随行者の1週間のお世話や観光案内のほか、留学生の受け入れをおこなうホストファミリー向けにオリエンテーション（英会話・注意事項）を実施しています。

四街道からの短期留学生及び訪問団が出発する前には、英会話や訪問先での注意事項、パーティーでのパフォーマンズの練習などのオリエンテーションを3回程度実施しています。

これらの活動資金を集めるため、ふるさとまつりや産業まつりにも出店していますが、テント内は中学時代に短期留学をした人たちが社会人になって再び集まって協力してくれ



姉妹都市部会執行部メンバー

るなど、交流の場として繋がりが残り、広がっています。

—— あいさつは国境を越える ——

栗原 萌

2009年の春、私は13歳の時に初めて交換留学生としてリバモアを訪れました。

私が一番楽しみだったのは、リバモアの学生と交流することです。私と同世代の子がどのような環境で過ごし、どのような会話をして遊ぶのか、とても興味深かったのです。

しかし、全く知らない環境にいざとび込むとなると少し不安に思ったことを覚えています。特に、学校に行く前日は不安であまり眠れませんでした。

そして登校日。不安と楽しみの複雑な気持ちのまま学校のドアをおそろそろ開けたのを覚えています。しかし、入った瞬間、不安という気

持ちは一気にどこかへ行ってしまう。なんと、初対面のすれ違うすべての子が私に、「Hello」「Good morning」と親しみをこめた笑顔であいさつをしてくれたのです。まるで私がずっと前からその学校の生徒であつたかのように、接してくれたのです。その気さくな対応にとてもうれしくなりました。

あいさつをかわすことは「国を超えて人を喜ばせたりすることができるとのだな」と思いました。

—— ホストファミリーになって…… ——

毛利和美

ホストファミリーとして待っている間は、いつもドキドキ、でも、わくわくします。どんな子が来るのか…、何が好きで、何が嫌いなのか…、うちの子と仲良くできるのか…。

こんなことを受け入れる前はいつも考えます。

でも、きっと日本に来る留学生達も同じように思っているはず。

受け入れる子が発表される1回目のオリエンテーション後、こちらからのEメールで交流が始まります。

家族構成や自己紹介、写真なども添付してお互い確認し合います。

いよいよご対面。

自己紹介は何とか出来ても子供同士はなかなか会話が進まず、大人の片言英会話で場を繋ぎます。

2日目以降から、子供たちの交流が始まります。ガムやチョコが大好

きで一緒に買いに行ったり、それを食べながら一緒にカードゲームをする。ものすごく盛り上がるものです。

会話らしい会話はないけど、(英語で)「僕の番」「勝った」「もう一回」……などが聞こえてきては、笑い声が絶えません。遊びに会話は必要なのですね(笑)

こんなエピソードもありました。

回転寿司を食べに連れて行った時のこと、次から次に流れて来る寿司を片っ端から写真に撮ったり、「エビ天、エビ天」とエビ天ばかり取って食べていたり、見ているだけでも面白いのです。

家のウォシュレットを使って…、

「便通が良くなるし、気持ちいい」と言っていました。アメリカに帰る時には、相気に入ったのか、主人に値段を聞いていたとか…(笑)

留学生たちは随行員から、ウォシュレットは使わないようにと言われていたらしいのですが、そこはやはり子ども。興味本位で使ってしまったようです。でも、何でも試してみ

ることはとても良いことだと思えます。失敗もありです。

しかし、その一方で、留学生たちは立派な先生に早変わり。息子たちに英語のレッスンをしてくれました。さすが生の英語、会話の受け答え方も教えてくれていました。

ホストファミリーになると、たった一週間ではあるけれど、外国人の中学生が2人も来るので、大変な面

もあります。しかし、中学生と言ってもまだまだ子ども。とても可愛いです。

彼らが帰国してからも時々メールをして、交流は続いています。2年前まで英語が好きではなかった息子も今では英語が大好きになり、今年3月に留学生としてリバモアに行きました。思い返せば、2年前、思い切ってホストファミリーとして受け入れてみて良かったと思います。それがなかったら、息子はずっと英語に興味を持たなかったかもしれせんね(笑)

—— 出会い ——

栗原裕子・荒川栄子

私がこのボランティア活動をする喜びは、素晴らしい出逢いがあるからです。まず一つは、リバモアの人々との出逢いです。言葉も国も文化も違う人々と、よき友人になることができるのです。アメリカに家族ができたようです。よく私達はお互いに、私の家はあなたの家、だからいつでも welcome と言っています。

またもう一つの出逢いは、今一緒に活動をしている姉妹都市部会執行部の人々です。彼女達は、仕事をもち子育てもし、主婦業もこなし、その上姉妹都市交流のボランティア活動にも積極的に参加しています。このパワフルでポジティブな方達と、学生時代の部活動の様に、純粋に汗をかき、悩み、団結して楽しむことが

出来るのは、私の喜びです。

こんな素晴らしい出逢いがあるボランティア活動です。ご参加をお待ちしています。

また、ホストファミリーをするこのにより、英語漬けの一週間をおくることができ、家庭内留学ができます。

通訳・語学研修部会

Q この部会のできた経緯を教えてください

A 国際交流協会設立前の姉妹都市市民の会では英語教室を開催していました。協会設立後、公的な通訳や通訳の依頼が増えてくるのではないかと考え、立ち上げました。

Q 日頃どのような活動をしているのですか？

A 当部会のボランティアの中心は通訳・翻訳です。英語や中国語を中心に、公的機関と外国籍市民の皆様との橋渡しをしています。

Q 具体的には？

A 市役所から発行される重要な広報（例えば、外国人法の改正や、就学援助制度のお知らせなど）の翻訳や市役所や医療機関での窓口サポートです。

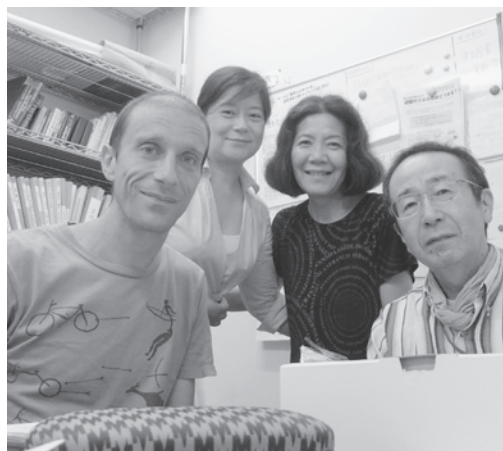
また、最近では、姉妹都市部会からの依頼で、ホストファミリーのオリエンテーションのテキストを作りました。

Q 今後の展望などがありますか。

A 市民の方へ言葉を通じてのネットワークづくりを目指しています。

学校のA・L・T（外国語指導助手）と共に市民向け学習を実施するほか、子どもたちの英語教育の発展のための活動もしていきたいです。

「語学」を「語楽」ととらえて小さい頃からふれあい、楽しんでいたきたいと思います。目標は、地域に住む外国人の方のためのガイドブックを外国語で作ることですね。



通訳・翻訳ボランティア
米家靖子・前田光久

通訳・語学研修部会には通訳・翻訳ボランティアとして活動している方とともに、語学学習に意欲を燃やす方や、いずれ語学を活かしたボランティアをしたいという方も、大勢登録してくださっています。

通訳・翻訳には、その言語の背景にある文化や歴史への理解が欠かせません。

せん。当部会では、多文化理解のための勉強会や英語学習会を毎月開催し、市民の皆様向けには、Y・O・C・Aの持ち味を生かした語学講座や講演会を企画し、ご好評を得ています。

今年度は、今までの企画に加えて、「四街道で暮らすための」情報を英語ガイドブックにまとめるワークショップを開催予定です。語学に興味がある皆様、Y・O・C・Aでお待ちしています。Cross-Cultural（異文化交

私の得たこと

須藤理子

私は以前、ガールスカウトを通して*ミクロナシア諸島自然体験交流事業に参加し、たくさんの方の経験を知ることができました。

一つは、たくさんの方の友だちをつくることのできたことです。一緒に行った日本の友だちや海外の友だちなど、今になっては大変な友だちです。最初は言葉が通じないので大変でした。でも、身ぶり手ぶりで何とか伝わっているような気がしました。

ステイ先のお父さんはお刺身を用意してくれたし、お母さんはお味噌汁をつくってくれたり、わざわざふりかけなどを買ってきてくれました。私たちがのために色々とお気をつけてもてなしてくれたことがとても嬉しかったです。

もう一つは、日本とは異なった文化や自然にふれることができたことです。今回の研修では海での活動が

流)な活動を一緒にしましょう。(ご参考に)今年度の活動

・英会話教室(入門、初級、中級、上級)

・英語学習会(隔月)

・異文化探究勉強会(隔月)

・「行ってみよう、メルボルン」(英語講座)

・英語でランチ

・A・L・T講演会

・ホストファミリー向け英会話テキスト作成 など



多くシノーケリングなど初めての経験であり、とても楽しかったです。海はとても透き通っていてサンゴ礁にはたくさんのお魚がいました。でも、そのサンゴ礁も今は地球温暖化などで少しずつ減っていついていけるというのを聞いたときはとても驚いたし、なくなってしまうのではないと思いました。

フェアウェルパーティーではお世話になった家のジェエルシーが私にウドウドと呼ばれる貝のネックレスをくれました。このネックレスは私にとつて、たくさんの方の思い出が詰まった宝物です。私は今回の海外研修を終えて、以前の自分とは少し変わったような気がします。何か新しいことにチャレンジしてみたいと思うたり自分から人に話しかけたりすることができるようになりました。

今回のたくさんの方の経験を何かに活かせるように頑張りたいです。

※独立行政法人国立青少年教育振興機構の主催事業です。

お知らせ

●四視協講演会『眼の再生治療について』

講 師：八木文彦氏
 (東邦大学医療センター大橋病院眼科医)
 日 時：10月19日(土) 14:00～16:30
 (受付13:30～)
 場 所：視覚障害者総合支援センターちば 5階会議室
 定 員：70名(予約不要) 参加費：無料
 主 催：四街道市視覚障害者協会(四視協)
 問合せ：伊佐 ☎424-5351 携帯 080-1074-3126

●四視協 『秋の交流会』

日 時：11月24日(日) 13:30～16:30
 場 所：四街道市総合福祉センター 3階会議室1
 対 象：関心のある方(会員でない方も歓迎です)
 主 催：四街道市視覚障害者協会(略称 四視協)
 問合せ：伊佐 ☎424-5351 携帯 080-1074-3126

●千葉盲学校『千葉盲祭』

・幼児・児童による公演、作品展示
 ・農耕班・織物班による販売 ・マッサージ体験
 ・県立四街道高校吹奏楽部による演奏など
 その他たくさんの催し物を用意しております！
 日 時：10月26日(土) 9:10～15:00
 場 所：県立千葉盲学校 校内(大日468-1)
 問合せ：塚田 ☎422-0231

●第14回クリスマスコンサート

日 時：12月14日(土) 13:30～16:30
 場 所：旭公民館
 問合せ：コンサート実行委員会 前波(☎432-0691)

ボランティア担当職員紹介

ボランティアの皆様の生き生きとした表情に、いつも元気をいただいています。皆様楽しく活動していただけるよう精一杯お手伝いしたいと考えております。どうぞよろしくお願いします。

古谷夏子・太田育子

編集後記

最近ボランティア意識の国際比較というデータを見た。先月何かに困っている見知らぬ人の手助けをしましたか？に最も高いのは米国、カナダで約65%、日本は最下位で23%であった。日本の社会保障がよく整備されていることを考慮しても、やはり低い数値である。一方、先頃南浦和駅で電車とホームに挟まれた人を乗客が協力して電車を押し倒して救出したニュースがあり、これがネットで流れ、世界各地で絶賛されたとのこと。日本人の親切さはよく知られているが、このような行動もできるというところも知ってもらいたいです。



●手づくりの会

施設から依頼された手芸品や縫い物、バザー用品やプレゼント用品も制作しています。一緒に活動しませんか？

日 時：毎月第2・4木曜日 13:30～16:00
 場 所：総合福祉センター3階 ボランティア活動室
 問合せ：ボランティアセンター ☎421-6300



●ドライヤーかけのボランティア

入所者の入浴後にお話相手をしながら髪の毛を乾かしてください。

日 時：月・火・金・土曜日 9:30～11:30 月・火・木・金曜日 14:00～15:30 応相談
 場 所：特別養護老人ホーム あさひ園 (山梨1488-1)
 問合せ：生活相談員 中村 ☎432-6382

●洗濯たたみ・仕分け・車椅子のおそうじなど

日 時：月～金曜日の御都合の良い日時(応相談)
 場 所：障害者支援施設 永幸苑(上野199)
 問合せ：後藤 ☎432-2851

●ワークショップ四街道(社会福祉法人 愛光)

①割り箸の袋詰めや塩素剤の検品、封筒作りなど
 ②センタービル内の清掃 ③草刈り
 ④利用者の送迎(自宅→センター)、話し相手
 日 時：月～金・第3土曜日 10:00～15:00
 (時間は相談に応じます)

場 所：視覚障害者総合支援センターちば(四街道1-9-3)

問合せ：山本 ☎424-2598

※マッサージ師によるマッサージ 10分間500円
 お気軽にお越しください。気持ちいいですよ！

●入浴後の介助・お話相手ボランティア

入居者の入浴後のドライヤーかけやお話相手
 日 時：随時(特に毎週火・金曜日) 10:00～12:00
 場 所：赤かぶ園四街道(亀崎1260-12)
 問合せ：小島 ☎304-1866

●デイサービスでの話し相手、お庭の手入れ、昼食後の片付けなど

日 時：月～土曜日、時間は相談に応じます
 場 所：ここ楽もねの里デイサービス(もねの里2-7-21)
 問合せ：長尾 ☎312-2972

行事予定

●社協まつり

日 時：10月20日(日) 10:00～14:00
 場 所：総合福祉センター
 3階はボランティア体験コーナーや発表会などにぎわいます。喫茶コーナーもあります。ボランティア相談もできますので、お待ちしております。

●第33回四街道市社会福祉大会

日 時：11月28日(木) 13:00開会(12:00受付)
 場 所：文化センター大ホール
 内 容：顕彰表彰・体験発表・記念講演
 講 演：石井苗子(女優、ヘルスケアカウンセラー)

